

平成25年4月10日

各 位

一般社団法人 日本病院薬剤師会

平成25年度HIV感染症薬物療法認定薬剤師認定試験について

平素より、日本病院薬剤師会にご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本会はHIV薬物療法認定薬剤師の認定試験を下記の日程で実施いたします。本認定試験は、今年度または次年度の認定申請時（平成26年8月頃）までにHIV感染症薬物療法認定薬剤師認定申請資格の全ての条件を満たすことのできる方が対象です。

受験をご希望される方は申込書に必要事項をご記入の上、平成25年5月16日（木）までにFAXにてお申し込みください。

お申し込みされた方には、追って、手続きについてご連絡させていただきます。

記

日 時 : 平成25年6月16日（日） 10時～12時

場 所 : 日本薬学会 長井記念館 地下ホール
（東京都渋谷区渋谷2-12-15）

出題基準 : 別添のとおり

受 験 料 : 会 員 : 10,500円（税込）、非会員 : 15,750円（税込）

<申込み・照会先>

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-12-15

日本薬学会長井記念館8階

一般社団法人 日本病院薬剤師会事務局

総務課（上笹、加藤）

TEL 03-3406-0485

FAX 03-3797-5303

日本病院薬剤師会 事務局総務課宛
F A X 03-3797-5303

平成25年度
H I V感染症薬物療法認定薬剤師認定試験 申込書

※ 施設名	
※ 所属部署名	
役職名	
※ 施設所在地	〒
フリガナ ※ 氏名	
※ T E L	
F A X	
《緊急連絡先》 * 携帯電話	
日病薬会員番号	
備考	

注1 ※印は記載必須項目です。

注2 *印は震災等の影響により急遽中止等、緊急の連絡を行う可能性がありますので、その場合は携帯電話にもご連絡いたします。

平成 25 年度
HIV 感染症薬物療法認定薬剤師・HIV 感染症専門薬剤師認定試験
出題基準と範囲

(1) HIV 感染症の基礎

- ① HIV 感染症の概略について説明できる。
- ② HIV 感染症の検査法等について説明できる。
- ③ 針刺し事故対策について説明できる。

(2) HIV 感染症の臨床

- ① HIV 感染症の治療ガイドラインについて説明できる。
(専門：海外のガイドラインを含む)
- ② HIV 感染症と最新の薬物療法を含めその変遷について説明できる。
- ③ 日和見感染症とその治療について説明できる。
- ④ 性感染症治療とその治療について説明できる。
- ⑤ 免疫再構築症候群等のエイズ関連病変とその治療について説明できる。
- ⑥ 血友病とその治療について説明できる。
- ⑦ HBV/HCV 重複感染問題とその治療について説明できる。
- ⑧ HIV 感染症を有する妊婦・女性・小児・高齢者の特徴と問題について説明できる。

(3) HIV 感染症の薬物療法

- ① 抗 HIV 薬に関する薬物動態、副作用、用法、用量、相互作用などの臨床薬理について説明できる。
- ② 日和見感染症、性感染症治療に関する作用のメカニズム、副作用、用法、用量、相互作用などの臨床薬理について説明できる。
- ③ 抗 HIV 薬の薬剤耐性について説明できる。
- ④ 開発中の抗 HIV 薬や日和見感染症治療に関する未承認薬について説明できる。
(専門：海外における開発状況を含む)

(4) HIV 感染症の服薬指導とコミュニケーションスキル

- ① HIV 感染症患者に対する服薬指導について説明できる。
- ② 服薬アドヒアランスの概念について説明できる。
- ③ 患者が自己決定に至る課程について説明できる。
- ④ 患者、チームスタッフとのコミュニケーションスキルについて説明できる。
- ⑤ チームとの関わりについて説明できる。

(5) HIV 感染症医療チームにおける薬剤師の役割

- ① HIV 感染症チームにおける薬剤師の役割を説明できる。
- ② HIV 感染症治療の薬物療法に関する情報収集と評価を行うことができる。

(6) HIV 感染症を取り巻く社会制度等

- ① HIV 感染症患者の動向について説明できる。
(専門：海外における状況を含む)
- ② 高額療養費制度や自立支援医療等、HIV 感染症治療に関連する医療制度について説明できる。
- ③ 日本の HIV/AIDS に関する医療体制について説明できる。
- ④ 薬害エイズについて説明できる。
- ⑤ HIV 感染症の予防と教育について説明できる。

(7) その他

- ① HIV 感染症に関する最新情報を得ることができる。
(専門：海外における状況並びに英文解釈を含む)

※カッコ内は専門薬剤師認定試験の出題基準と範囲に含まれる。

<主な参考図書等>

- ・添付文書、インタビューフォーム
- ・平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「抗 HIV 治療ガイドライン」(2013 年 3 月)
- ・平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV・HBV 重複感染時の診療ガイドライン」(2009 年 3 月)
- ・平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「制度の手引き 第 6 版」新潟大学医歯学総合病院感染管理部 (2011 年 12 月)
- ・平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染予防対策マニュアル 第 6 版」
- ・平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 薬剤耐性検査ガイドライン Ver.6」
- ・平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 診療における外来チーム医療マニュアル」(改訂第 2 版)
- ・平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症とその合併症 診断と治療ハンドブック」
- ・「血友病診療の実際 2007 年版」中四国エイズセンター
- ・平成 24 年「HIV・HCV 重複感染時の診療ガイドライン 第 5 版」北海道大学病院 HIV・HCV 重複感染症診療委員会 (2012 年 10 月)
- ・厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「免疫再構築症候群 診療のポイント Ver.3」(改訂版)
- ・HIV 感染症治療研究会, HIV 感染症「治療の手引き」(第 16 版)
- ・これでわかる HIV/AIDS 診療の基本, 白阪琢磨編著, 南江堂, 東京, 2009
- ・HIV 感染者の早期発見と社会復帰のポイント—プライマリケアにおける検査と病診連携, 岡慎一編, 医薬ジャーナル社, 東京, 2010
- ・国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター HIV/AIDS e ラーニング・プログラム <http://acc-elearning.org/AIDS/>
- ・エイズ予防情報ネット (A P I - N e t) <http://api-net.jfap.or.jp/>
- ・DHHS, Guidelines for the use of antiretroviral agents in HIV-infected adults and adolescents, Washington, Feb. 12, 2013
- ・DHHS, Guidelines for Prevention and Treatment of Opportunistic Infections in HIV-Infected Adults and Adolescents, Washington, April 10, 2009